

「とっとりプラットフォーム 5+α」中期計画の進捗状況

2018/08/23

活動指標の達成状況					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価
(1) 県内高校生の卒業後県外転出率の減少	(1) H28年度実績 (学校基本調査他) 県外進学者+県外就職者 県内卒業者 =57.6% H33年度目標 52.6%	(取組 1) 正規雇用 1 万人チャレンジ計画の推進会議への参加	(取組 1 の活動指標) 年 1 回	(取組 1 の活動実績) 平成 29 年度 1 回参加 平成 30 年度 1 回参加予定 実施期間 平成 27 年度から平成 30 年度	A
		(取組 2) 県内企業の共同就職フェアの推進	(取組 2 の活動指標) 年 1 回	(取組 2 の活動実績) 平成 29 年度 1 回実施 平成 30 年度 1 回実施予定	A
		(取組 3) 県内高等教育機関のパネルを高校内へ展示推進	(取組 3 の活動指標) 毎年 1 名以上増	(取組 3 の活動実績) 平成 29 年度、5 校で実施 平成 30 年度、県内全ての高等学校に案内し、3 校実施	A
(2) 県内高等教育機関の教育内容の充実と学習機会の拡大	(2) e-ラーニング授業可能科目数 H29年度 0 毎年度 1 科目増	(取組 4) 単位互換科目の検討協議	(取組 4 の活動指標) 毎年 1-2 回開催	(取組 4 の活動実績) 県内 4 大学単位互換履修科目の設定 平成 30 年度前期 12 科目	A
		(取組 5) e-ラーニング授業実施のための機材活用	(取組 5 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 5 の活動実績) 平成 29 年度より活用開始	A
		(取組 6) e-ラーニング授業の検討と実施	(取組 6 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 6 の活動実績) 県内高等教育機関での教育プログラム開発委員会を実施し検討 平成 29 年度 8 回実施 平成 30 年度 3 回実施	B
		(取組 7) e-ラーニング授業の広報 (対象: 者学生・教員)	(取組 7 の活動指標) 平成 31 年度より	(取組 7 の活動実績) 平成 30 年度前期より県内 4 大学で広報開始	A
		(取組 8) e-ラーニング授業に関する調査	(取組 8 の活動指標) 平成 31 年度実施	(取組 8 の活動実績) 3 大学で平成 30 年 9 月に先進大学の視察を予定	A

「とっとりプラットフォーム 5+α」中期計画の進捗状況

2018/08/23

活動指標の達成状況					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価
(3) 県内高等教育機関のキャリア教育の充実	(3) インターンシップ参加者数の増加 H28 年度実績 251 名 H33 年度目標 300 名	(取組 9) インターンシップ受け入れ企業の増加	(取組 9 の活動指標) 産業界との協議年 2 回	(取組 9 の活動実績) 鳥取県インターンシップ推進協議会の参加 平成 29 年度 1 回参加 平成 30 年度 1 回参加予定	A
		(取組 10) とっとりインターンシップフェスティバル開催	(取組 10 の活動指標) 年 1 回	(取組 10 の活動実績) 平成 30 年 6 月 23 日実施 参加学生数 350 名(昨年度 240 名) 参加企業数 70 社(昨年度 59 社)	S
		(取組 11) インターンシップ合同企業説明会	(取組 11 の活動指標) 年 1 回	(取組 11 の活動実績) 2 回実施予定 平成 30 年 6 月 23 日実施 平成 30 年 11 月 23 日実施予定	S
(4) 県内高等教育機関卒業生の県内就職の促進	(4) 県内高等教育機関卒業生の県内就職率 H28 年度実績 29.6% H31 年度目標 44.3%	(取組 12) 地域学科目(鳥取学等) e-ラーニングの導入	(取組 12 の活動指標) 平成 31 年度実施	(取組 12 の活動実績) 平成 31 年度継続し検討・実施予定	B
		(取組 13) 正規雇用 1 万人チャレンジ計画の推進会議への参加	(取組 13 の活動指標) 年 1 回	(取組 13 の活動実績) 平成 29 年度 1 回参加 平成 30 年度 1 回参加予定 実施期間 平成 27 年度から平成 30 年度	A
		(取組 14) 県内企業の共同就職フェアの推進	(取組 14 の活動指標) 県内 3 地区で毎年各 2 回開催	(取組 14 の活動実績) 平成 29 年度 1 回実施 平成 30 年度 1 回実施予定	B

「とっとりプラットフォーム 5+α」中期計画の進捗状況

2018/08/23

活動指標の達成状況					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価
(5) 県民の生涯学習内容の充実と機会の増加	(5) プラットフォーム連携講座の受講者数の増加 平成 29 年度 600 名 1 回平均 50 名(見込み) 毎年度各 10%増	(取組 15) 講座内容、講師、会場の協議 検討会議	(取組 15 の活動指標) 毎年 1 回開催	(取組 15 の活動実績) 平成 30 年度、連携講座を開催中 平成 31 年度に向けた講座内容、講師、会場等を検討中	A
		(取組 16) 広報活動の充実	(取組 16 の活動指標) 平成 30 年度チラシ増刷 および広報の場所増所	(取組 16 の活動実績) 平成 30 年度、チラシの増刷はせず、 広報場所の増所を実施	A
		(取組 17) 受講生に対するアンケート調査	(取組 17 の活動指標) 平成 30 年度実施	(取組 17 の活動実績) 平成 30 年度は各高等教育機関での アンケート結果を集約、平成 31 年 度に向けた実施内容を検討中	B
(6) 人手不足社会における人手確保による産業界の活性化	(6) 女性の就業率の向上 H27.10.1 実績 (国勢調査) 50.9% H32.10.1 目標 55.9%	(取組 18) 技能向上の支援のための履修 プログラム検討	(取組 18 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 18 の活動実績) 平成 30 年度は各高等教育機関の 履修プログラムの現状調査を予定 (未実施)	B
		(取組 19) 女性雇用に関する共同研究の 支援	(取組 19 の活動指標) 平成 30 年度より年 1 回研 究	(取組 19 の活動実績) 女性雇用の課題について部会構成 メンバーによる意見交換を実施 (5 月)、 シンクタンクの調査レポートを もとに認識を共有(7 月)、 共同研究者募集のため募集要項 作成中	A

「とっとりプラットフォーム 5+α」中期計画の進捗状況

2018/08/23

活動指標の達成状況					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価
(7) 地域リスクマネジメント体制の強化	(7) 自主防災組織率の向上 H28年4月1日実績 (100の指標からみた鳥取県) 82%	(取組 20) 中部地震復興会議への参画	(取組 20の活動指標) 年数回	(取組 20の活動実績) 平成30年2月に参画	A
	H34年4月1日目標 90%	(取組 21) リスクマネジメント体制に関する共同研究支援	(取組 21の活動指標) 平成30年度より年1回研究	(取組 21の活動実績) 共同研究者募集のため募集要項作成中	B
(8) 人口減少社会への対応	(8) 合計特殊出生率の増加 H27.10.1 実績 (国勢調査) 1.69	(取組 22) 子育て支援に関する講座への講師派遣	(取組 22の活動指標) 年2回	(取組 22の活動実績) 講師・講座調査の実施に向け、情報収集予定(未実施)	B
	H32.10.1 目標 1.80	(取組 23) プラットフォーム形成機関の育児休業取得率の向上	(取組 23の活動指標) 5年で5ポイント向上	(取組 23の活動実績) 平成30年度後期から育児休業取得率の現状調査を実施する予定(未実施)	B
		(取組 24) 少子化対策の共同研究の支援	(取組 24の活動指標) 平成30年度より年1回研究	(取組 24の活動実績) 共同研究者募集のため募集要項作成中	B

「とっとりプラットフォーム 5+α」中期計画の進捗状況

2018/08/23

活動指標の達成状況					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価
(9) 社会人学生の確保	(9) 社会人学生の増加 (社会人学生/全学生数) H29年度実績 88名 H34年度目標 97名 (社会人学生数の増加率 10%)	(取組 25) 産業人材育成センター委託事業の推進	(取組 25 の活動指標) 平成 30 年度より受託 (鳥取短期大学)	(取組 25 の活動実績) 平成 30 年 4 月より訓練生を受入。 幼児教育保育学科 2 人、生活学科 食物栄養専攻 3 人、合計 5 人の実績	S
		(取組 26) 履修証明プログラム導入検討	(取組 26 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 26 の活動実績) 未実施	B
		(取組 27) 社会人の学びやすい仕組みの導入と推進	(取組 27 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 27 の活動実績) 共同研究者募集のため募集要項 作成中	B
		(取組 28) 社会人への広報活動の充実	(取組 28 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 28 の活動実績) 取組 27 に含める	B
(10) 県内高等教育機関の教育活動に関する適切かつ効果的な運営	(10) 共同のFD・SDの充実 (参加人数の増加) H29年度 実績 0名 H34年度 目標 150名	(取組 29) 共同のFD研修会の実施	(取組 29 の活動指標) 毎年 9 月に共同の研修会 を開催	(取組 29 の活動実績) 9/14 共同FD・SD研修会開催。 加え、プラットフォーム内のFD・ SD研修会開催一覧表を作成し、 相互参加に向けた環境を整備。	S
		(取組 30) 共同のSD研修会の実施	(取組 30 の活動指標) 毎年 9 月に共同の研修会 を開催	(取組 30 の活動実績) 9/14 共同FD・SD研修会開催。 加え、プラットフォーム内のFD・ SD研修会開催一覧表を作成し、 相互参加に向けた環境を整備。	S

活動指標の達成状況					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価
(11) 学生による地域貢献活動の展開	(11) 学生のこども食堂・学習支援の参画(参加人数の増加) H34年度 目標 100名	(取組 31) こども食堂・学習支援に関する合同説明会の開催	(取組 31 の活動指標) 毎年2回合同説明会を開催	(取組 31 の活動実績) 事業者(行政とりまとめ)と学生ボランティア(大学とりまとめ)の双方からこども食堂の課題を整理するところからスタートすることを確認	B
		(取組 32) こども食堂・学習支援の参画募集チラシの作成(ホームページ等で公開)	(取組 32 の活動指標) 平成30年度より作成し、随時更新する	(取組 32 の活動実績) 取組 31 に含める	B

◆「評価」基準

- S：当初の取組計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
- A：当初の取組計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
- B：当初の取組計画について、期間中には十分な成果が出ておらず、目標の達成に継続した努力が求められる。
- C：当初の取組計画について、未達のため取組内容や目標等の一部見直しが必要である。
- D：当初の取組計画について、目標の達成見込みがないため、取組内容や目標等に関して抜本的な見直しが必要である。